

みんなの協力で、子どもたちが心のケアを受けられる社会へ。



サポチル

認定NPO法人 子どもの心理療法支援会

サポチル関東 事務局

〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-332

第一経営ビル1階 こうめま心理相談室内

E-mail: info-kanto@sacp.jp

Twitter: [@info_kanto](https://twitter.com/info_kanto)

URL: <http://sacp.jp/>

サポチル関東 主催

子どもの精神分析的心理療法・臨床セミナー In 関東2021

6年目となるサポチル関東の臨床セミナーは、「これからの子どもと家族の心理臨床に向けて—子どもの精神分析的心理療法はいかに役立ち得るのか?—」というテーマで開催いたします。今日の子どもを取り巻く臨床の場では、個人心理療法のみならず、様々な対応が求められています。精神分析的な心理療法の実践の経験や培われた知見は、幅広い臨床領域で役立てることができるでしょう。分析的設定の心理療法が不可能な臨床の場でのようにそれらを生かしているのか、また生かし得るのか、経験豊富な講師の講義と話題提供者の対話により理解を深めることができればと思います。本セミナーは、今日、そしてこれからの子どもに関する臨床実践では欠かせない多様なテーマで構成されています。コロナ禍の臨床の場への影響も含め、是非この機会に、多様な観点から子どもの臨床についてあらためて考えてみるのはいかがでしょうか。

2021年度 臨床セミナー

これからの子どもと家族の心理臨床に向けて —子どもの精神分析的な心理療法はいかに役立ち得るのか?—

第1回 2021年4月11日(日) 13時~17時

「パンデミック下における子どもの心理療法」

講師: 平井正三 先生 (御池心理療法センター)

話題提供: 吉岡彩子 先生 (御池心理療法センター)

第2回 2021年6月13日(日) 13時~17時

「精神分析的な考えをさまざまな職場・領域で生かす試み」

講師: 松本拓真 先生 (岐阜大学教育学部)

話題提供: 熊田知佳 先生 (聖マリアンナ医科大学病院小児科)、廣内雄一郎 先生 (私立・公立SC)

溝口いずみ 先生 (社会福祉法人同仁会 内原和敬寮)、森稚葉 先生 (社会福祉法人かほる保育園)

第3回 2021年8月8日(日) 13時~17時

「遊べない子どもとのプレイセラピー」

講師: 生地新 先生 (北里大学)

話題提供: 吉沢伸一 先生 (ファミリーメンタルクリニックまつたに)

第4回 2021年10月10日(日) 13時~17時

「デジタル・ネイティブ世代と精神分析臨床」

講師: 飛谷渉 先生 (大阪教育大学保健センター)

話題提供: 飯野晴子 先生 (カウンセリングオフィス ビオラボ)

第5回 2021年12月12日(日) 13時~17時

「子どもの生活場面への分析的臨床の寄与—交差する子どもとグループ、日常と非日常、空想と現実—」

講師: 鈴木誠 先生 (くわな心理相談室)

話題提供: 大橋良枝 先生 (聖学院大学心理福祉学部)

第6回 2022年3月6日(日) 13時~17時

「精神分析的視点を生かした親と家族への支援」

講師: 脇谷 順子 先生 (杏林大学保健学部)

話題提供: 井本早織 先生 (ファミリーメンタルクリニックまつたに)

対象者: 臨床心理士、公認心理師、医師、それに準ずる専門家、大学院生・研修生

定員数: 80名

受講料: 40,000円(全6回)

会場: web会議アプリ「Zoom」によるオンライン開催 ※2021年度は会場参加はありません。

■セミナー内容

第1回 2021年4月11日	パンデミック下における子どもの心理療法	平井正三先生
<p>本講義では、サポチル作成の「新型コロナウイルス感染症パンデミック下における子どもと家族の心理臨床ガイドライン」の概要を紹介するとともに、コロナ禍における子どもの心理療法について考えていきます。コロナ禍によって、子どもや家族の心の状態がどのように影響を受けているか、心理療法や親面接にどのような影響を及ぼしているのか、そしてそのような子どもと家族との臨床実践にはどのような形態がありうるのか、について考えていければと思います。</p>		
講師の所属・略歴	京都大学教育学部博士課程指導認定退学、1990年～1997年タヴィストック・クリニック児童家族部門留学、児童青年心理療法士資格取得。京都光華女子大学助教授などを経て、御池心理療法センター代表、大阪経済大学客員教授、認定NPO法人子どもの心理療法支援会理事長、精神分析的サイコセラピー・インスティテュート大阪(IPPO)会長。	
第2回 2021年6月13日	精神分析的な考えをさまざまな職場・領域で生かす試み	松本拓真先生
<p>訓練と心理療法実践の場だった関西から離れ、岐阜の地に大学教員として赴任した私は個人心理療法を行う機会が極端に減りました。その中で様々な現場と出会い、心理療法のみをしていたとき以上に子どもの精神分析的な心理療法の意義を実感しました。その一端をお話することで、セラピーのできない現場で働く皆さんにとっても、子どもの精神分析的な心理療法の独自性と有用性を実感してもらえるのではないかと考えております。</p>		
講師の所属・略歴	岐阜大学教育学部准教授。サポチル認定「子どもの精神分析的な心理療法スーパーバイザー(コンサルタントセラピスト)」。近著「自閉スペクトラム症を抱える子どもたち:受身性研究と心理療法が拓く新たな理解」(金剛出版)。	
第3回 2021年8月8日	遊べない子どもとのプレイセラピー	生地新先生
<p>児童の精神分析的臨床において、遊び(Play)は、子どもの心の深層に至る王道とも言える。しかし、いわゆる「自閉症スペクトラム」の子どもたちや長期間不適切な環境で養育された子どもたちは、想像力を働かせて、外的世界と内的世界を行き来しながら、遊ぶ力が不足しているか奪われている。この講義の中では、ウィニコットと現代クライン派の理論と実践を参照しながら、遊べない子どもたちの病理とその子どもたちが遊べるようになることを支援する技法について、考えてみたい。</p>		
講師の所属・略歴	1986年山形大学大学院医学研究科博士課程修了。同大学附属病院講師・日本女子大学人間社会学部助教授を経て2007年から北里大学大学院医療系研究科教授。日本精神分析学会運営委員・同学会認定スーパーバイザー。専門は児童青年期臨床。	

第4回 2021年10月10日	デジタル・ネイティブ世代と精神分析臨床	飛谷渉先生
---------------------------	----------------------------	-------

インターネットが生活インフラとなり、スマートフォンにより世界との交流手段が手中に収まった現代、時空間体験は加速度的に変形している。SNSの普及により、内的対話は即座に公共化でき社会に放たれる。コミュニケーション手段の激変は人の心の構造までも大きく変えた。アナログ交流を守り通してきた精神分析臨床もコロナ禍により、現代的コミュニケーション様式に適応せざるをえなくなっている。ここで精神分析は何を発見できるだろうか。

講師の所属・略歴	大阪市立大学医学部医学科卒・同大学院卒。精神科医、医学博士。2004-2008年タヴィストック青年期部門留学。大阪教育大学保健センター准教授。日本精神分析学会認定スーパーバイザー。著書「精神分析たつとえ話：タヴィストック・メモワール」、訳書「新釈メラニー・クライン」など。
-----------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第5回 2021年12月12日	子どもの生活場面への分析的臨床の寄与 -交差する子どもとグループ、日常と非日常、空想と現実-	鈴木誠先生
---------------------------	----------------------------------------------------------	-------

生活場面では、親子関係に学校のグループとの関係が重なり、家族力動やグループ・ダイナミズムの影響も受ける。その場において、子どもはただ受け身的なのではなく、能動的に関与し影響も与えている。そこは、子どもとグループ、日常と非日常、空想と現実、『こころ』と『からだ』が交差し、こころの成長と退行、停滞が展開される場なのである。その子どもを理解する取り組みは、『生きている』複雑さを読み解く試みと言える。

講師の所属・略歴	名古屋大学医学部精神医学教室卒業後研修修了。現職、くわな心理相談室主宰。日本精神分析学会認定心理療法士・スーパーバイザー。
-----------------	---------------------------------------------------------------

第6回 2022年3月6日	精神分析的視点を生かした親と家族への支援	脇谷順子先生
-------------------------	-----------------------------	--------

子どもの心の発達にとって、親(養育者、保護者など)や家族はとても大切です。親との心理面接は“応用編”と表現されるなど、特有の難しさがあるようです。子どもや青年の心理療法における親との面接の役割について、そして、親、子ども、妻/夫、職業人などさまざまな立場や役割をもち、多様な内的及び外的関係性を生きているひとりの人間でもある親とのワークについて、あらためて考える機会になればと思います。

講師の所属・略歴	2000年～2011年タヴィストックセンター児童家族部門留学、2009年児童青年精神分析的な心理療法士資格取得、2014年児童精神分析的な心理療法専門家博士号取得。杏林大学保健学部、認定NPO法人子どもの心理療法支援会理事。
-----------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

セミナー申込について

■定員数: 80名

■対象者: 臨床心理士, 公認心理師, 医師, それに準ずる専門家, 大学院生・研修生

■受講料: 40,000円

■ 申込み方法

1. 下記、QRコードを読み取り、手順に従い、申し込みください。

※オンライン・セミナーでは、守秘義務に関する取り決めに同意していただく必要があります。

同意いただけない場合、参加することはできません。詳しくは申し込みフォームにてご確認ください。



QRコードを読み取ると、専用の申込フォームが開きます。
手順に従い、必要事項を入力してください。

QRコードが読み取れない場合、以下のURLにてお申し込みください。

https://docs.google.com/forms/d/1q3AI5MRNYX9N_NAV77r1tyzRSzt_TNHQqsE0bWi4C60/edit



2. 参加申込メールの確認後、事務局より、「申込受付メール」にて振込先口座および振込期日をお知らせします。

◆お振込 受講料40,000円

※振込期日までに未納の場合、お申込みはキャンセルとして取り扱わせていただきます。

※お振込み後、受講生の事情でキャンセルする場合、受講料の返金には応じられません。



3. 事務局より、「振り込み確認＋受講受理完了メール」を送信します。

申し込み締め切りは2021年2月28日(日)

■ お知らせ

サポチル関東のTwitter (@info_kanto) でも研修情報を発信しています。ぜひご覧ください！

◆研修ポイントについて

本セミナーは、日本臨床心理士資格認定協会の「定例型研修会(4ポイント)」として承認されており、7割以上出席の方に「研修証明書」を発行しますが、来年度のZOOMセミナーがポイント取得可能かは、3月以降に協会からお知らせがあります。

◆緊急時の連絡について

不測の事態などにより、セミナーを中止(延期)せざるを得ない事態が生じる場合があります。当日午前7時までには、開催の可否を事務局からメールでお知らせさせていただきます。なお、一斉メールが届かない場合もありますので、サポチル関東のTwitterでもお知らせ致します。必ずご確認ください。

(セミナー申込時に必要なメールアドレスは可能な限り、普段確認できる連絡先にさせていただけると助かります。)

お問い合わせ先: info-kanto@sacp.jp